

美術講座プレミアム

受講生募集！

応募締切：2024年9月25日(水) 必着

芸術の世界を様々な角度から探索するプレミアムな講座

美術史や歴史・文学に携わる研究者などを講師にお招きし
多彩な芸術の世界をじっくりと学びます。

プレミアム講座 全5回

- ◆ 日程 10月3日、10月10日、10月17日、10月24日、10月31日 (木曜日)
- ◆ 時間 10：00～11：30
- ◆ 会場 北海道立近代美術館 講堂 (札幌市中央区北1西17)
- ◆ 定員 230名
- ◆ 受講料 3,500円 (アルテピア会員の方は3,000円)

(受講料は一括払いです。講座ごとの分割払いは受け付けておりません。)

- ▶ 講座内容は、裏面をご覧ください。
- ▶ 道民カレッジに講座情報を登録しています。

申込方法：ホームページまたは往復はがき

- ▶ ホームページ：下記URLまたはQRコードから申し込みください。
 - ▶ 往復はがき：「往信」に 受講希望・氏名（ふりがな）・郵便番号・住所
電話番号・アルテピア会員の方はアルテピア会員番号
「返信」に 郵便番号・住所・氏名をお書きください。
(お預かりした個人情報、美術講座プレミアム以外に使用することはありません。)
- * 受講決定の可否は、10月1日(火)までにお知らせします。
* 受講料は、講座第1回目10月3日(木)に申し受けます。

申込・問合せ先

〒060-0003 札幌市中央区北3条西18丁目2-7 新田ビル2F
一般社団法人 北海道美術館協力会(愛称アルテピア) 電話 011-644-4025
HP <http://www.artepia.or.jp> E-mail oubo@artepia.or.jp

主催 一般社団法人北海道美術館協力会
共催 北海道立近代美術館 北海道立三岸好太郎美術館
後援 札幌市 札幌市教育委員会



美術講座プレミアム 2024

講師×講演テーマ

第1回 10月3日(木)

現代の美術館

大澤夏美

(ミュージアムグッズ愛好家/
北海道大学大学院文学院博士後期課程)

グッズから楽しむミュージアム

展示を見たり、美術について学んだりする以外にも多様な楽しみを提供することが求められる昨今の美術館において、存在感を高めているミュージアムグッズ。雑貨との違いや博物館にとってどんな位置づけをされているかなど、豊富な事例をもとにお話しいただきます。

第2回 10月10日(木)

現代の美術

鈴木涼子

(美術家)

この世界とわたしを巡る旅

ジェンダーやセクシュアリティなどをテーマに、人間の欲望、社会の歪みに焦点を当てた作品を制作する鈴木涼子さん。作家としての歩みと、実際に関わった国内外の展覧会やアートフェア、レジデンスの経験について、ご自身の作品とともに豊富なスライドを交えてご紹介いただきます。

第3回 10月17日(木)

近世日本の美術

苫名 真

(市立小樽美術館長)

伊藤若冲と『動植綵絵』

近年ブームと呼ばれるほどの人気を集めている異色の画家伊藤若冲(1716-1800)。皇居三の丸尚蔵館が所蔵する畢生の大作『動植綵絵』(全30幅)のうち2幅が初めて近代美術館に出品されるのに合わせて、若冲の数奇な生涯と多彩な画業、そして『動植綵絵』の魅力をご紹介します。

第4回 10月24日(木)

北海道の美術

田村実咲

(国立アイヌ民族博物館アソシエイトフェロー)

北海道の木彫り熊

北海道の著名な土産品・木彫り熊。近年その魅力が再評価され、注目を集めています。北海道の一大土産品となるまでの歴史を振り返るとともに、制作・販売や博物館による収集保存・展示の多様な展開と今後の可能性、そして鑑賞のポイントについてお話しいただきます。

第5回 10月31日(木)

美術と美術館の歴史

今村信隆

(北海道大学大学院文学研究院准教授)

「お静かに！」から考える -声と沈黙と鑑賞の話-

美術館は静かで落ち着いた場であるべきなのか。それとももっと賑やかな、語らいの場であってもよいのか。カントの哲学、明治の博覧会、そして現代の対話型鑑賞までを手がかりに、美術と美術館の歴史における声と沈黙をめぐる諸問題についてお話しいただきます。

* 講座日程・内容が、都合により変更になる場合もありますので予めご了承ください。